

2020  
12.21

月4回  
月曜日発行

第1178号

# 週刊ビル経営

発行所 ㈱ビル経営研究所  
〒104-0061  
東京都中央区銀座7-17-12 2F  
TEL 03 (3543) 7421  
FAX 03 (3543) 5839  
発行人 垂澤清三  
年間購読料 30,000円(税込)  
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS  
亀岡大郎取材班グループ

## ソーコに学ぶ ビル経営



イーソーコ総合研究所  
代表取締役 出村 亜希子  
奈良女子大学大学院修了後CM  
会社を経て現職。一級建築士、  
宅建士。「倉庫ドクター」とし  
て建築面からオーナー支援に取り  
組む。

建物の現地調査や工事中の管理など、現場に赴くことが多々あります。重要な業務です。参加してもらいませぬ。不明な点も、その場で会話して解消することができませぬ。大規模な現場では、構な時間をとられませぬ。も

あり、社になつてきたようであら進捗 工事の流れも変化し状況を確認 してきました。例えば緊急連絡網。以前は電話度、現場で順次申し送りをして監督とやり取りしていましたが、今はSNSで一斉に送信することができませぬ。重要な情報や画像なども即時共有できませぬ。疑問点などもその場で聞くことができませぬ。LINEやslackなどでグループを作れば、全員がリアルタイムで状況を確認できませぬ。

この効率的にできる方法はないかと日々考えていませぬ。最近になつてよつやく変わつてきたよつです。例えばウェブカメラでの実況や各種アプリを使つた報告などは、大手ゼネコンの現場だけでなくちよつとした工事でも使われるよつになつてきました。ツールを使つた効率化は、かなり浸透してきた感があります。

### 第32回「IoT化で管理が変わる」

先日、私たちが管理している倉庫内で床の工事を実施したときのこと。工事を行ったのが、ちよつと管理用のウェブカメラを設置していた箇所でした。普段から画像でよく見ている場所だったことも、気軽に運用が可能

現地確認において、遠方での工事や夜間工事の管理もしやすくなります。Googleストリートビューなど事前イメージを掴み、現地どこを確認すればいいかをあらかじめ知ることで、営業スタッフが確認できるよつになります。

使って、建築士や物流のビデオ通話などを活用して、現場を確認し、生産性を高めてくれます。効率的な管

確認してもらつても増えませぬ。すべてがオンラインで済むわけではありませぬが、ちよつとしたこともその場で解決できるよつです。